

情報収集

コミュニケーション

発信する

- 困っていることや求めていること、できることって地域によって違うんだなあ。
- 気軽に集まれる場所って、どこにでもあるわけじゃないんだなあ。
- 地域の人たちが「どんなことに困っているのか」をみんなで共有することって、とても大事なことなんだなあ。
- たとえ不便なことがあっても「生活の満足感」があればいいのかな。
- 自分にもできそうな「ちょっとした」お手伝い、心がけてみたい。
- 市川三郷町のいいところをたくさん知った。その一つは「つながり」。
- その人その人の感覚として、市川三郷町が住みやすい町となれば、それが市川三郷町のいいところ。

とことん話し合ったら
こんなことに気付いた！



市川三郷町がめざすこと・・・元気な高齢者も、認知症の方も、病を抱える方も、障がいとともに生きる障がい者も、
支援が必要な子どももみんな地域で当たり前に暮らしたい その願いをかなえるための仕組み（地域包括ケアシステム）
「あったらいいな」を考え、どうすれば実現できるかを検討 → そしてこの仕組みを・・・皆で作っていくこと

医療と介護のつながりの
仕組みづくり

- ・地域の医療機関と介護事業所
などマップづくり
- ・在宅医療、介護の手引き配布
- ・医療機関や介護事業所との情報
交換や学習会
- ・峡南在宅医療支援センターとの
連携

相談ができる
仕組みづくり

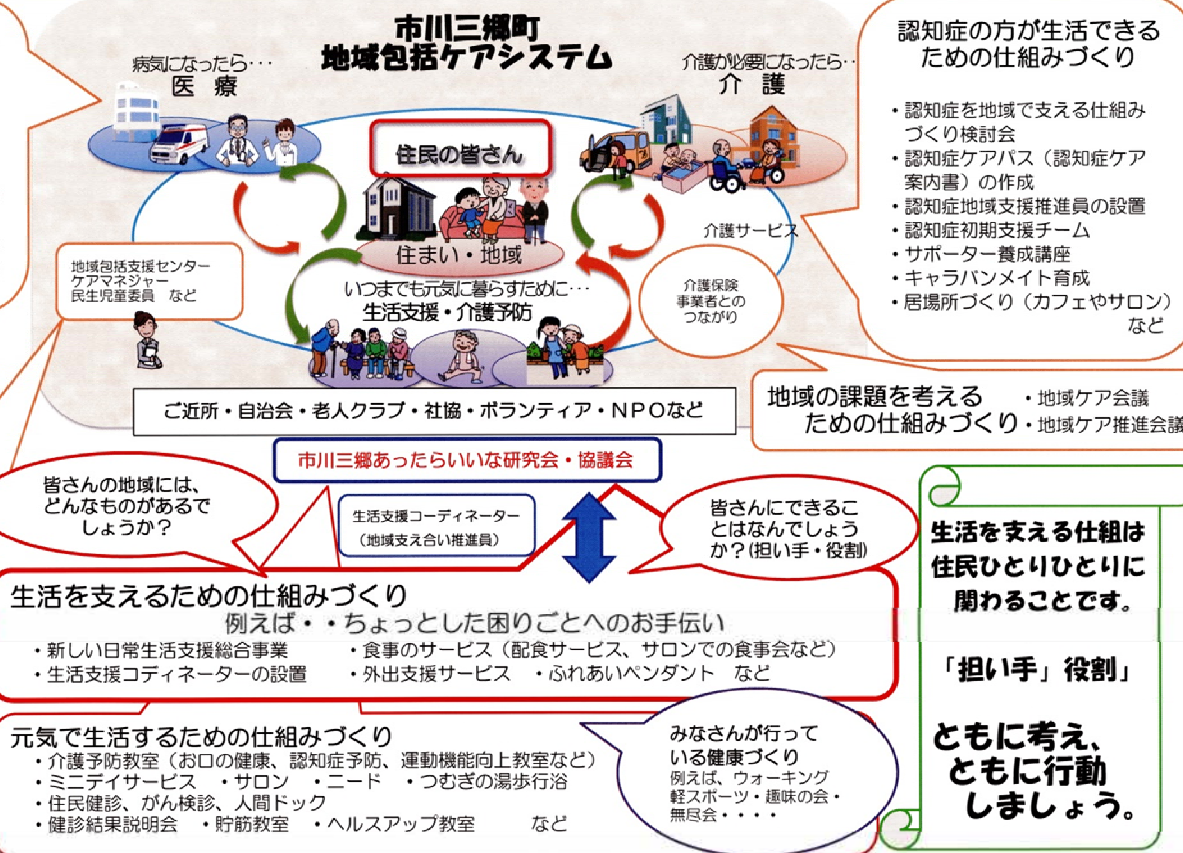
- ・いつでも相談できる窓口
- ・ケアマネジャー等関係機関
への支援

権利が守られる
仕組みづくり

- ・虐待防止ネットワーク
- ・消費者被害対策
- ・成年後見制度

安心して介護ができる
仕組みづくり

- ・徘徊SOSネットワーク
- ・介護者のつとめ
- ・男性介護者のつとめ
- ・ケアマネジャー連絡会議
など



編集後記：研究会にご参加いただいた皆さま、貴重なご意見、ありがとうございました。様々な立場の方々の思いが伝わってくる研究会でした。今後は話し合われた意見、あったらいいなの実現に向けて、話し合いの場を移していきますが、話し合われた内容については定期的に報告したいと思います。それでは、地域包括ケアシステム実現のため、できることからやっていきましょう。

お問い合わせ先
市川三郷町福祉支援課
TEL 055-272-1106

【市川三郷町あったらいいなを実現するための仕組みづくり研究会】
で話し合われた内容について、報告します！

市川三郷町あったらいいな通信

平成28年3月31日発行



健康な人もそうでない人も、認知症や障がいに向き合っている人も、支援が必要な人も、大人も子供もみんな、この住み慣れた地域で当たり前のように暮らしたい・・・。

その願いをかなえるための『仕組みを皆でつくっていく』ために、町社会福祉協議会、福祉・保健関係者、地域密着型介護事業所、金融機関、店舗、NPO法人、各種団体、行政といった様々な立場のメンバーで構成された研究会。この研究会メンバーで、市川三郷町の『あったらいいな』を実現するための仕組みについて話し合いました。

準備会

- ・【平成27年10月6日】
- ・関係各課が策定した計画の背景、課題、思いを共有し同じ方向性に向かうため、研究会準備会を開催しました。

第一回

- ・【平成27年10月30日】
- ・町の現状と各種計画、町の目指すところの説明の後、グループワークを通じて研究会の目標などを話し合いました。

第二回

- ・【平成27年11月30日】 グループワーク
- ・市川三郷町内に今どんな地域資源があるかを出し合い整理しました。

第三回

- ・【平成28年1月26日】 グループワーク
- ・今までの話し合いで出た内容の中から高齢者向けのものを取り上げて確認しました。

第四回

- ・【平成28年3月22日】
- ・これまでの話し合いの成果発表と今後の方向性を話し合いました。



話し合いの結果は、見開きの
ページをご覧ください。

もっともっと住みやすい市川三郷町になるように、この町に「あったらいいな」を、研究会メンバーで話し合いました。

★居場所・交流

- ・ミニデイサービス、認知症カフェ、認知症予防グループ
- ・定期的サークル活動の充実を図り、相互の交流を深める
- ・空き家などを利用し、元気な高齢者が集まって、副菜などを作り、格安で分け合って、話し合うことができるような場
- ・認知症や障害を持った方が、地域でいつまでも生活できる環境の整備
- ・地域住民同士のつながりづくりの促進
- ・高齢者、子ども、老若男女が集える場
- ・生きがい、趣味活動のリーダー養成



★健康づくり

- ・地域住民が主体となって介護予防づくり
- ・町全体で盛り上がるようなスポーツイベントの開催
- ・現在している趣味や運動へのアドバイス
- ・薬についての知識
- ・ニードのようなスポーツ施設



★相談支援

- ・ちょっとした困りごとの相談
- ・体験者による相談（ピアカウンセリング）
- ・総括的な巡回相談会
- ・「なんでも相談」のような入口の広い相談室
- ・気軽に相談ができるサービスが存在している事の周知

★住まい

- ・高齢者のみではなく障害者にもグループホーム等障害者の専用住宅の設置
- ・シェアハウス
- ・福祉村などの全ての方々が生涯を通じ利用できるような施設が集約する場所
- ・町内に居住すると特典がある制度



★場所貸し

- ・市川三郷町の体験ツアーでの民泊、体験用の農園
- ・空き店舗の貸出
- ・私有地の一部を借り上げ、ベンチ、テーブル等を設置し、通行する人々及び住人との交流の場を設け、家に引きこもりの人々が散歩等をより快適にできる場所の提供
- ・町のあちらこちらに町内の活動、イベント周知の掲示板

★見守り

- ・定期的な安否確認サービス
- ・市川三郷地域見守隊（子供から高齢者まで）
- ・地域巡回
- ・ご近所での認知症徘徊ネットワーク
- ・高齢者の見守り情報の共有化促進



★地域づくり

- ・地産地消
- ・イベント等に参加する際の移動手段（高齢者の運転による事故回避）
- ・災害時の相談窓口の設置、安否確認サービス、防災マニュアル
- ・情報伝達の円滑化
- ・移住者を増やす狙いで大型商業施設をつくる。地元のお店もその中に店舗を出店していただき地元のお店を盛り上げる。
- ・市川三郷町を起点としたプロスポーツチームを作り、町を盛り上げるとともに市川三郷町を全国的に有名にする
- ・交番内にサロン的な気軽に立ち寄れる場
- ・ごみ問題の解決、困っていることなどの問題の共有

★預かり

- ・緊急時の宿泊場所提供、一時的な預かり、宅老幼所
- ・地域の退職者等による、児童の一時見守りや、一時帰宅場所の提供
- ・ホテル・旅館の空き室（支援ボランティア付）
- ・病児保育をしてくれるサービス



★教育・学習

- ・多様な学習ができるメニュー（バラバラではなく調整された年間メニュー）
- ・男性も来るような高齢者向け講座
- ・小地区ごとに、子どもから高齢者まで年齢を問わず、興味のあることや学びをできる場所
- ・有償ボランティアの活用



★権利擁護等

- ・手続きの簡素化
- ・市民後見人の育成、統括
- ・町内の専門機関の無料相談
- ・弁護士・司法書士等による巡回相談会

★ちょっとしたお手伝い（生活支援）

- ・お掃除、片づけ、雪かき支援隊
- ・買い物支援ボランティア
- ・出張商店街
- ・365日3食対応、利用条件にとらわれない配食サービス
- ・通院・受診の機会の確保
- ・外出時の移動手段の確保
- ・買い物や電球交換などのちょっとした生活援助を手伝ってくれるボランティアの養成
- ・御用聞き、町の配食サービスを利用した食事会



★就労支援

- ・企業と連携して職業訓練や就労支援
- ・市川三郷町特産の農産物を中心とした就労機会の提供
- ・就労支援員の配置
- ・中間就労施設、作業所（生活困窮者、引きこもり）
- ・空き店舗を活用した若者による起業の場の提供



あったらいいな！

★居場所・交流「世代を越えて集える場所」

- 子どもの居場所づくり
- 三世代が集える場所づくり
- 集う場所への移動手段



★見守り「ソフト面とハード面の両面からの見守り体制」

- 子ども、高齢者に対する見守り
- 既存の各組織を生かした見守り活動
- ハード面の整備（防犯カメラの設置等）

★ちょっとしたお手伝い（生活支援）「家事、特に買い物の支援」

- 移動販売の活用
- 家事ボランティアの拡大
- 商店の創出